

実践記録

84

新潟大学法学部との連携講座

白根市生涯学習課 派遣社会教育主事 笠原 誠也



1 はじめに

白根市教育委員会生涯学習課では、市民の現代的な学習課題に対応し、知的欲求を満たす学習機会を提供することをねらいとして、平成13年度から新潟大学法学部の協力を得ながら、「大学との連携講座」を開講しています。毎年、市民から好評を得ており、他市町村からの受講者もおられます。

昨年度から派遣社会教育主事として白根市教育委員会生涯学習課にお世話になり、この事業の主担当をさせていただくことになりました。

本年度の講座の概要と成果・反省をまとめ、実践記録とさせていただきます。

2 講座の概要について

(1) テーマ

「犯罪と法について考える」

(2) 募集定員・申込者数等

募集定員50人 申込者23人 定員達成率46.0%

昨年からのリピート受講者9人

(3) 会場：白根学習館

(4) 受講料：3,000円

(5) 内容・指導者・日時

① 刑法の基礎1 (法学部 丹羽正夫 教授)

9月15日(水) 19:30~21:00

日本の犯罪発生状況と刑事紛争処理システムについて学びます。

② 刑法の基礎2 (法学部 本間一也 教授)

9月22日(水) 19:30~21:00

刑法の基礎的な考え方について学びます。

③ 刑法各論1 (法学部 本間一也 教授)

9月29日(水) 19:30~21:00

ドメスティックバイオレンスについて学びます。

④ 刑法各論2 (法学部 丹羽正夫 教授)

10月6日(水) 19:30~21:00

児童虐待について学びます。

⑤ 刑法と家族 (法学部 南方暁 教授)



10月13日(水) 19:30~21:00

家族法と家族内の暴力について学びます。

⑥ 刑法と法医学 (医学部 山内春夫 教授)

10月20日(水) 19:30~21:00

刑事事件と法医学について学びます。

3 講座の成果

～アンケートの結果から～

(受講者23人中 回答者17人)

- A・そう思う B・ややそう思う
C・あまり思わない D・全く思わない

(人)

設問番号	設問	A	B	C	D
ア	講座の主題(テーマ)は明確であった。	15	2	0	0
イ	講座の内容は興味深かった。	10	7	0	0
ウ	講義の内容、説明はよく理解できた。	10	7	0	0
エ	この講座で新しい知識が得られた。	14	2	1	0
オ	講義は、受講者の反応を見ながら進められていた。	6	9	2	0
カ	講義で用いられた教材・資料は適切であった。	9	8	0	0
キ	講座の回数(6回)は、適切であった。	10	5	2	0
ク	この講座の受講を、友人・知人にもすすめたい。	10	6	1	0
ケ	この講座をきっかけに、自分でもっと学習を進めたい。	10	7	0	0
コ	また来年も受講したい。	14	3	0	0
サ	講座が始まるまでの準備や進行は、適切であった。	12	5	0	0

4 受講者の声

- ・今まで知らなかった生活に役立ちそうな知識を、たくさんもらいました。
- ・難しいと思っていた法学を、少しだけ身近に感じました。
- ・6回といわず、12回くらい連続でやってほしいと思います。

5 反省及び来年度の方向

- ・テーマは今日的で緊急性のあるものであり、興味深く受講した方が多かったと思います。レベル的にも、今年度くらいが丁度よいと感じました。
- ・今年度は、募集定員の半数程度しか申込みがありませんでした。(昨年は48人の申込み)
今後は、3月に合併する近隣地区にもどんどん働きかけていきたいと思っています。